

中央大学学員会 第20号 49年白門会会報

発行日 平成22年5月29日
 発行人 山崎 厚太
 発行所 中央大学学員会49年白門会
 印刷所 (有)東光美術印刷

東京都千代田区神田駿河台3-11-5 中央大学駿河台記念館学員会事務局

49年白門会のホームページ → <http://www.gakuinkai.com/hakumon49/>

※メールアドレスの登録・変更は

hakumon@gray.plala.or.jp

にご連絡ください。

一九五〇年・昭和二十五年六月二十五日に、いわゆる朝鮮戦争が勃発しました。私の誕生日はその翌日・二十六日です。イベント等で当時の新聞を貰ったことがあります。その後の朝鮮特需は戦後日本の復興に大きな影響を与えたと思えますが、戦争の勃発は当時の新聞のトップ記事ではありませんでした。事の重大性を認識すること、或いは将来を予測することの難しさを痛感させられます。とはいえ、私は「時代の変わり目に生を受けたんだ」と勝手に受け止め



還暦の前後 49年白門会副会長 山崎 司平

てきました。

私の誕生秘話をご披露すると、私は、お産婆さんに取り上げて貰ったのではありません。産気づいた母が隣に寝ていた父に、「お産婆さんを連れてきて欲しい」と頼んだが、父は農業で疲れ果てていたからか、「朝まで我慢しろ」と言っただけで呼びに行っただけでくれなかつたそうです。母の強い頼みで父は漸く自転車を走らせましたが、急いだ挙げ句に川に落ちたりして時間が掛かったために、お産婆さんが間に合わないまままで私が生まれ出たそうです。英語では「生まれる」ことを過去完了の受動形で表現しますが、私は「俺は、受動形ではなく能動形だ。自ら生まれてきたのだ」と変な自慢をさせて貰っています。

こんなオッチョコチョイの子どもも、早いもので今年では還暦を迎えることになりました。私は一浪をしてから大学に入学しましたので、49年白門会の会員の皆が、「アラ還」や「びったしカンカン」なので、還暦という節目について考えざるを得ない状況になっていきますね。私は、弁護士なので、「定年が無くて良いね」と言われることがあります。ところがどっこい、弁護士にも事実上の定年があると考えています。弁護士稼業は、小さなスナックと同じです。お客さんはママさんを自当てに来るのですが、ママさんよりの年長者が多いものです。年長者は先立たれるのが一般的なので、お客さんが「死に減り」することになります。弁護士も同様です。古くからの依頼者が、定年・倒産等でリタイアされると、常連さんが少なくなるのです。

脱！還暦クレーム

そんなわけで私も皆さんと同様、還暦という節目を考えざるを得ない状況にあります。二、三年前に還暦の人について考えていて、ハツと気付かされたことがあります。

企業のクレーム対応の相談にのるときはクレームの歳を尋ねるので、実は「還暦クレーム」が非常に多いのです。企業を六〇歳で定年退職したが、妻子とのコミュニケーションが上手くない人がいます。そんな人は町内会等でも誰も付き合いたくありません。そんなとき何らかのクレーム事象に出会うと、企業の担当者は必ず相手をしてくれますから、グダグダと難癖をつけて、企業の担当者と交流することを楽しみます。彼らは株主総会の時期には、議決権の一口だけ株付けをして発言を求め、という行動に出ることもあります。この場合も、必ず発言の機会を与えられますが、迷惑の上ない所業です。みっともないことの上ありません。

これに対して、還暦を迎えて定年退職しても、仲間と交流することが出来れば、「還暦クレーム」のよくな醜態をさらすことはありません。皆さん、49年白門会に結集して、愛されるオッサン・オバサンの人生を送るつてはありませんか。



(題字・葛西聖司)

CONTENTS

- 1ページ
 - ★還暦の前後 山崎司平
- 2ページ
 - ★友へのメッセージ 井上三史
 - ★湯島散策レポート 柴田 明
- 3ページ
 - ★新年会レポート 益田耕二
 - ★事業部掲示板
 - ★楽苦我喜 石川晶雄
- 4ページ
 - ★総会のお知らせ
 - ★09年度会費納入者
 - ★会費納入のお願い
 - ★編集後記

友へのメッセージ

退職後の情報交換を

しましように 井上 三史 (理工)

原稿依頼を受けた時、何を書いたらいいか戸惑いました。仲間はずれがいたかなと思いい、納戸の奥にしまいでんでいてずっと見ていなかった「創立100周年記念学員名簿昭和60年版」を取りだしてみたら、上巻1286ページに懐かしい名前が並んでいました。

その中から、私が大学時代、一緒に時間をすごした仲間の名前を見つけてることができました。敬称略で申し訳ありませんが、千葉好男、天野茂、細野信男、佐藤泰正、寺岡史枝、徳永望の6人です。今どうしているかな。元気でやっているかな。

大学4年間で一番印象深かったのが、大学3年の時、読書同好会に入り、一週間ごとに1冊だったか一カ月ごとに1冊だったか本を読んでも感想を言い合いました。いつしか一週間に1冊読むというペースをつかみ一年間に50冊読破する目標で読み続けた記憶が残っています。思い返してみると、高校時代はグレーの時代で、引込み思案、根は暗い性格だった。部活動もやらず、クラブにも入らず、ただ、高校と自宅の往

復をしていただけだった。しかし、読書をしていく中で、性格が徐々に前向きになり、明るくかつプラス思考になっていく自分に気がついた。大学を卒業して、読む数はぐっと少なくなつたものの続けています。特に、「人を動かす」D・カーネギー著、「人の心をつかむ話し方」平井昌夫著、「人をつまよう法」J・S・ローレンバーク著、「三色ボールペンで読む日本語」齊藤孝著の4冊には影響を強く受けました。人とのコミュニケーションが自然にできるようになった。

とところで、38年間働き続けて、定年退職を迎えようとしているが、皆さんは、退職後どうするのか。やるべきことが決まっているのかな。私はどうも根っからの中途半端なところがあるようで、自分の好きなことをやりたいと思っているのだが、まだ決まっていない。皆さんはどうしますか。退職後20年間あると考えると過ごすか考えている人、情報交換してみませんか。できればメールでのやり取りができるといいですね。



私は仕事以外に少年警察ボランティア活動をしています。これは「少年補導員」といって、警察署長から委嘱を受け、少年(18歳未満の少年少女)の非行防止及び健全育成

のための活動に当たっています。道路や公園などで不良行為少年に対する助言指導を行う街頭補導活動、少年や保護者から相談を受け助言指導を行う少年相談活動、少年に対しスポーツ活動や社会奉仕活動への参加を呼び掛けるなど居場所づくりを行う少年の社会参加活動、少年に有害な影響を与える雑誌の自動販売機の撤去要請などを行う有害環境浄化活動、地域全体で少年の非行防止や健全育成に取り組むため地域住民に協力を呼び掛ける広報啓発活動の5つを行っています。

たぶん、退職後は少年補導員の活動を中心に行うようになるのかな。友へのメッセージ「退職後の20年間の過ごし方について情報交換をしましように。」

携帯メール mitsui-inoue@ezweb.ne.jp
 パンフレット mitsui-inoue@nifty.com
 携帯 090-083480800664
 電話 0465-8210674

春雨の湯島界限を散策

2010年 3月6日(土) 柴田 明 (理工)

あいにくの雨にもかかわらず、集合時間の12時に、御茶ノ水駅の聖橋口に19名が集まりました。今回初めて参加した人もいろいろと自己紹介の後、聖橋を渡り湯島聖堂へ歩いて行きました。

元禄時代、五代將軍徳川綱吉によって建てられた孔子廟で、日本の学校教育発祥の地の湯島聖堂を見学。ちょうど筑波大学の彫刻の展示会が行われていたので見学しました。

小雨の中傘をさし、各目色々なことを話しながら次の神田明神まで歩いて行きました。久しぶりに会った同期の人達と会話しているとあっという間に目的地に到着。

神田明神の展示場では、昔からの祭りに関する写真や錦絵を見たり、神輿や山車の展示物を見学。神田祭りは浅草の三社祭り、赤坂の山王祭りと共に東京の三大祭りの一つで、勇壮な神輿が神田の街へ繰り出すことで有名ですが、写真や錦絵に描かれた情景を見ていると京都の葵祭り等に似ているようにも思えました。

最後の目的地の湯島天神では、境内は梅観賞のために来た人と、受験の絵馬を求める人や合格の報告に来た人で賑わっていました。晴天だった前日と一白ずれてくれたらさらに梅の花や香りが楽しめたのではと、

多少残念でした。

昼食を兼ねた懇親会は、御徒町の吉池アパート内の食堂で行い、学生時代の思い出、仕事のことや近況などを話し合い、楽しい午後を過ごしました。



訃報

浅見照男さん(経済)が平成21年7月29日に逝去されました。埼玉県出身で国民生活金融庫に勤務しておりました。ご冥福を心よりお祈り申し上げます。

新しい顔も多数参加

新年会
2010年
1月30日(土)

益田耕二(法)

毎年1月最後の土曜日に開催される恒例の新年会。今年は穏やかな陽気の昼下がり、「銀座sunmi高松」にて午後3時から開催されました。

開会前から、話の輪があちこちでできる和やかな雰囲気が既に出来上がり、定刻の3時少し過ぎに中島幹事長の発声で開会しました。

まず山崎厚太会長が挨拶に立ち、「昨年は、我が49会の10周年記念総会を挙りましたが、これを機会に会



員拡大を目指して、封筒を色つきの大型にしたり、携帯電話のメール配信を始めたりという努力のお陰で、会員が増えると同時に連絡もつけやすくなり、今日の参加者は少なめの33名ですが、85名の方々から出欠のご返事をいただきました」とこの報告がありました。

今回初参加の会員は6名でしたがご夫婦で参加された長瀬さんにお話を伺いました。奥さまは文学部、ご主人は商学部の出身ですが、在学中に校門で出会ってからお付き合いが始まり、卒業直後に結婚されたという、遠い昔の馴れ初めを話してくださいました。

大竹広報部長の乾杯で始まった懇談に続いて、オークションの始まりです。125周年の寄付金を集めるために始めたオークションも今年で4年目になります。今年には自作の陶器、マフラー、コサージュの出品や、シンパエの100兆ドル紙幣、富山県の水産物(目録)、新潟のコシヒカリなど多彩な出品に大いに財布のひもが緩んだところで、最後に出品されたのが公式卓球ラケットと四元選手等の色紙のセット。これが人気を博し、3千円からスタートした価格がどんどんせり上がって、1万5千円という最高価格で落札さ

れました。今回のオークションでの落札額は88500円となり、全額49会の名前で125周年に寄付されました。

中締めを山崎司平副会長の3037拍子で締め、恒例の小澤氏のリードによる校歌、応援歌に始まりエール交換でお開きとなりました。話の尽きない面々は2次会へと銀座の街に繰り出しました。

事業部掲示板

2010年度の行事予定です。時間や集会所等詳細は未定です。実施が決まりましたらホームページやメールでお知らせいたします。

総会・懇親会

7月3日(土)

同封された案内状をお読みください。

納涼ビアパーティー

7月31日(土)

浅草寺参詣と伝法院菊花展見学

10月16日(土)

125周年記念行事

11月13日(土)

新年会

平成23年1月29日(土)

例年通り「銀座sunmi高松」を予定

葛飾柴又散策

平成23年3月12日(土)

らくがき 楽苦我喜 石川晶雄 (経済)

定年後は田舎暮らし?!

私は東京生れの東京育ちで、幼稚園・小学校から大学まで全て東京都世田谷区の生家(父の会社の社宅)から23区内の学校へ通っていました。就職は全国転勤が前提の生保に就職しましたが、入社同期が皆地方転勤していくのに、私は都内しかも山手線の内側の転勤ばかり繰り返していました。入社13年目で初めての地方勤務として仙台に転勤することになりました。3月末に送別会を東京の桜の咲く中で行ってもらい、万歳に見送られ新幹線に乗って仙台駅に着いたら雪が降っていたのを今でも覚えています。

寒さに慣れずに4月半ばまでコートを着ていて笑われたりもしましたが、初めて暮らした東京以外の土地仙台は素晴らしい街に思えました。特に食物の新鮮さと水の美味しさには感激でした。地理的にも東北地方の真ん中で、東北中の秘湯から有温泉まで探訪もできました。

仙台は土地も安く、勤務する企業グループの大手不動産会社が開発分譲した土地を購入して注文住宅を建てても、東京では考えられない価格と広さであり、迷わずに購入を決めました。

当初は投資用に考えていたので、子供もいないのに子供部屋を作ったりしましたが、仙台から転勤後は貸家として賃貸して、月々の住宅ローンは家賃でチャラにできました。しかし、住宅建設後にバブルがはじけて土地価格が暴落して投資として売り抜けもできずに現在に至っており、今はそれならまた実際に住んでみようかと思っています。

田舎暮らしというと仙台の人に怒られるかもしれませんが、地方中核都市と見栄を張っても車で20分も走ると緑豊かな土地が広がり、仙台時間という時間がゆっくり流れているこの街が私は好きです。

中島章夫幹事長が表彰されました

5月15日の学員総会で、中島幹事長が「長年にわたる支部活動を通じて学員会ならびに中央大学に対する貢献」により、学員表彰されました。

中島さんは、49年白門会が創設された2000年から、幹事長として会の発展に貢献されました。

当日は、山崎会長をはじめ数名の会員がお祝いに駆けつけました。中島さん、おめでとうございます。(詳細は次号)

2010年度 総会のお知らせ

「49年白門会」の2010年度の総会が開かれます。今回の総会は役員の変更や創立10周年後のこれからの会の運営をどうするか重要な総会です。場所は10年前に設立総会が行われた中央大学駿河台記念館です。総会終了後、懇親会も有ります。

日時・平成22年7月3日(土)

午後3時(2時半より受付)

場所・中央大学駿河台記念館

(東京都千代田区神田駿河台3-11-5)

懇親会・午後4時~6時 同会館

会費は5千円です。

「49年白門会」役員 立候補者募集

今年度の総会は役員の見直し期です。役員(会長、副会長、幹事長、



追悼ゴルフ

別れといえば悲しい別れもあり、昨年9月に私の職場の後輩でもあり、ゴルフ仲間でもある友人が急逝してしまいました。理不尽にも病に倒れ、必ず治してまたゴルフをするのだと闘いましたが、この世を去ってしまいました。

その彼との最期のゴルフをした5月の連休に追悼のゴルフを仲間とすることになっています。ゴルフ場に写

会費の納入についてのお願い

49年白門会は会費によって運営されています。未納入の方は、是非、会費を納めてくださるようお願いいたします。

年会費3,000円、入会金1,000円です。

なお納入方法は、下のいずれかをお選びください。

①郵便振替 (手数料は不要です)

振替口座番号「00180-3-196081」

口座名称 「49年白門会」

②銀行振込 (振込手数料が必要です)

銀行名 三菱東京UFJ銀行日野市役所支店 普通預金「0569115」

口座名 49年白門会 代表 山崎厚太

49年白門会連絡先・事務局

※住所・勤務先変更、新規会員紹介、お問い合わせ等、何でもご連絡ください。

※年2回発行するこの会報へ、広告の出稿、詩、俳句、エッセー等の原稿、企画案、ご意見をお寄せください。

49年白門会幹事長 中島章夫

東京都千代田区神田駿河台3-11-5 中央大学学員会事務局

電話 042-674-3468 (学生課) FAX 042-674-3469

※メールアドレスの登録・変更は hakumon@gray.plala.or.jp にご連絡ください。

副幹事長、会計監事)に立候補しようとする人は、6月19日(土)までに、書面で下記の選挙管理委員長までに申し出て下さい。

宛先・〒101-8332 4
東京都千代田区神田駿河台3-11-5
中央大学学員会事務局気付
49年白門会 選挙管理委員長
宮川 保

09年度会費納入者 (10年3月末現在)

●法学部

市村慎三郎 大谷洋一 大竹力三
岡村一夫 岡田彰 荻原紀行 小幡和男 葛西聖司 菅納敏恭 北村正幸 黒石正樹 真田和義 宍倉壽夫 實方健 杉本和久 杉本功 関雄四郎 高木潔 田中 正道 友国博志 戸田祐一郎 藤本真也 益田耕二 増澤繁 丸山秀平 谷治博史 山崎司平 横川博 横溝高至 荒木康裕 高橋和幸 堀越義久 増田勝美 渡邊達夫 石川健次 塩賀光明 田村哲朗 東條勝博 永井敏夫

●経済学部

井美知子 石川晶雄 梅田真人 大野春夫 小澤秀敏 加納幹郎 小林隆宣 佐野伸治 矢戸平和 菅原守田 中明 中島章夫 平野敏雄 松平守 宮川保 山崎厚太 山本順一 岩瀬正典 高柴富士男 本橋勝美 安藤正幸 井上修 坂本和夫 佐藤

●商学部

隆 土田誘造 原伸正 村岡潤
長瀬浩司 長地孝夫 秋山二正 飯田信夫 黒木兼一郎 背戸柳良辰 千葉幸嗣 利根川宣保 菱倉義成 松井宏夫 山田淳一郎 吉江信博 和田芳幸 有吉通泰 江村信一 日高定昭

●理工学部

天野茂 肥沼敏子 永木道雄 田中正和 岩城和裕 柴田明 高木一成 堀井信行

●文学部

三瓶富子 新沼辰男 小泉純子 田博則 長瀬教子 古岡文子 神田曜子 榎本宏太郎 渡邊秀和 池田和宣 沖田哲雄 軍司和彦 佐々木幸生 浜手基親 石川徹

原稿募集

次号掲載の「会員からのエッセー」では「もう一度〇〇したい△△」というテーマで原稿を募集します。〇〇には「行ってみたい」「食べたい」「会いたい」…、△△には「パリ」「お寿司」「初恋の人」などで書いてください。400字前後で事務局までにお送りください。締め切りは10月末日です。

広報部から手紙やメールで依頼することもありますので協力をお願いいたします。